

ケアラー支援

包括的な支援のあり方を検討 孤立防止や負担軽減に取り組む

【民生クラブ】

【質問】介護は、される側だけでなく、する側にも同じく、虐待などの悲劇を招かないようケアラー支援に焦点を当てた施策が求められるが、取り組み及び今後の方向性について聞きたい。

【答弁】要介護高齢者を初め、障がい者や医療的ケア児等、介護が必要な方の在宅生活を支えるケアラーへの支援は急務である。

これまで本市では、家族介護者教室を初め、負担軽減のための一時入所事業の実施や、同じ立場にある方同士の相談や交流ができる場の支援に努めてきた。また、平成29年度は、ヤングケアラーやダブルケアといった課題に対し、研修会や講演会を開催し、専門職の方とも課題を共有し、理解の視点が重要である。認知症の視点が重要である。

認知症の支援面で支える体制を

【市民クラブ藤沢】

【質問】認知症に対する施策は、点ではなく面できかに支えるかというまちづくりの視点が重要である。認知症の方とその家族などを支える体制をどうつくっていくのか、見解を聞きたい。

【答弁】誰もが住みながら地域で暮らし続けることができれば、まちづくりを目指す本市においては、地域全体で認知症の方とその家族を支える視点が大切である。

【質問】そのためには、あらゆる世代や立場の方が認知症を身近な問題として考え、地域で見守り、気づきを相談につなげる仕組みが必要であり、包括協定による企業との連携を初め、多様な主体とのマルチパートナーシップによる取り組みや、子ども、若者への普及啓発が重要である。

【答弁】そのような観点から、平成30年度は、本市の認知症への総合的な取り組み方針である「藤沢版おれんじプラン」を策定する予定であり、現在、認知症カフェなどを通じて当事者の方の思いを共有し、関係団体にも意見を伺いながら、内容の検討を進めている。

【質問】このような取り組みを通じて、行政や関係機関による諸施策と住民主体のさまざまな活動が一体的につながり、面で支える体制づくりを基本に、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指していきたい。

【質問】CSWの活動環境づくりを進める

【藤沢市公明党】

【質問】CSWの配置は、13地区における地域力の強化と地域づくりの推進のため

【答弁】CSWの配置は、13地区における地域力の強化と地域づくりの推進のため



電力の地産地消紹介ブース＝リサイクルプラザ藤沢

効率的な活用を促進 再生可能エネルギー 地産地消に取り組む

【日本共産党藤沢市議会議員団】

【質問】東日本大震災が発生してから7年目となるが、原発事故の被害を受けた福

島では今なお約5万人が避難生活を余儀なくされている。原発ゼロを宣言し、原発に頼らない自然・再生可能エネルギーの開発を急ぎ、地域経済の活性化も実証されているエネルギーの地産地消に取り組むべきと考え

【答弁】国内外のエネルギーをめぐる環境が大きく変化する中、再生可能エネルギーの地産地消を進めることは、災害時における安全・安心なエネルギー対策や地球温暖化対策の点からも大変重要である。

【質問】国内のエネルギー環境事業所余剰電力地産地消事業では、児童・生徒に対して電力の地産地消を紹介するために、市立学校全校にポスターを配付したり、リサイクルプラザ藤沢に見学対応用の展示ブースを設けたりするなどの取り組みを行った。

【答弁】本市では、藤沢型地産地消を見据えた再生可能エネルギーの普及促進に、市民とともに積極的に取り組んでいきたい。

【質問】今後とも、エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの普及促進に、市民とともに積極的に取り組んでいきたい。

【質問】今後とも、エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの普及促進に、市民とともに積極的に取り組んでいきたい。

【質問】今後とも、エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの普及促進に、市民とともに積極的に取り組んでいきたい。

【質問】今後の取り組みは、少子高齢化社会を乗り切る重要な取り組みであると同時に、達成へのハードルは非常に高い

【市民クラブ藤沢】

【質問】健康寿命日本一に向けた取り組みは、少子高齢化社会を乗り切る重要な取り組みであると同時に、達成へのハードルは非常に高い

【市民クラブ藤沢】

【質問】健康寿命日本一に向けた取り組みは、少子高齢化社会を乗り切る重要な取り組みであると同時に、達成へのハードルは非常に高い

【市民クラブ藤沢】

【質問】健康寿命日本一に向けた取り組みは、少子高齢化社会を乗り切る重要な取り組みであると同時に、達成へのハードルは非常に高い



神奈川県もブース出展した女性の健康づくりキャンペーン

の作成や、本市で実施する女性の健康づくりキャンペーンを県のMEIBYOキャンペーンとして共同開催するなど、連携して市民への周知啓発を行っている。30年度は、子どもの未病対策の一環として、虫歯の予防をテーマとしたファミリーミュージカルを県との共催により市民会館で開催する予定である。

また、がん対策における連携として、県が策定したがん対策推進計画に基づき、地域がん診療連携拠点病院である藤沢市民病院が、がん医療の提供やがん患者への支援等を実施するとともに、保健所においては、がん検診の実施と受診率向上に向けた啓発や、がん予防の啓発、がんに関する情報提供等を行っている。

今後とも、引き続きこうした県のさまざまな施策との連携をさらに深める中で、健康寿命日本一の実現に向けた積極的な取り組みを進めていく。

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。詳しくは、会議録をご覧ください。詳しくは、会議録をご覧ください。

議会を傍聴しませんか

閉会中に開催する諸会議及び6月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。なお、日時等は、変更になることもありますので、詳しい内容については、下記へお問い合わせください。

閉会中に開催する諸会議

Table with columns: 開催日, 開会時刻, 会議名. Lists various council meetings from May 22 to June 1.

請願と陳情のご案内

6月定例会では、次の日時までに提出されたものを審査します。また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。

6月定例会

Table with columns: 開催日, 開会時刻, 会議名. Lists the agenda for the June regular session from June 4 to June 22.

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。